

## 「転換期中国における社会経済制度」共同研究班 開催記録

### 2016年度

月 日	報告者	報 告 題 目	コメンテーター
4月22日	村上 衛	仲介者の効用——新規研究班をはじめるにあたって	梶谷 懐
5月20日	小林 亮介	グライラマ13世の亡命と外交（1904-1912） ——W. W. Rockhill との関係を中心に	岡本 隆司
6月3日	谷 雪妮	「支那を識るの途」——橋樑の中国論の視座をめぐって	石井 知章
6月17日	李ハンキョル	第一次世界大戦時期における杜亜泉の西洋認識について	小野寺史郎
7月1日	堀地 明	清代北京の食糧流通	田口宏二郎
7月8日	張 子康	琉球王国の西洋船迎接体制	渡辺 美季
	小堀 慎悟	世紀転換期の香港衛生政策と潔浄局 ——1907年の調査委員会報告から考える	古泉 達矢
7月15日	望月 直人	「中法越南境界通商章程」（1886年）における「交犯」条項 ——その成立と適用をめぐって	青山 治世
10月14日	凌 鵬	中国近世の「租佃関係」に対する認識——理論的な検討	岸本 美緒
10月28日	巫 靚	「日中戦争期から太平洋戦争期（1937-45年）における台湾人の移動	遠藤 正敬
11月11日	坂井田夕起子	「支那通」僧侶・藤井草堂と日中戦争	渡辺 祐子
11月25日	平井 健介	中国をめぐる二つの「日蘭会商」 ——1930年代の帝国糖業の国際環境	籠谷 直人
12月16日	豊岡 康史	嘉慶“維新”の背景とその目的——景況と漢化	岩井 茂樹
2月3日	篠原 由華	清末に「日本臣民」に交付された護照について	陳 來幸
2月17日	加藤 雄三	鎮江租界の終焉——返還交渉をめぐって	久保 亨
3月3日	上田 貴子	奉天同善堂に集まる人々——棲流所と游民・貧民対策	蒲 豊彦
3月17日	武上真理子	1920年代中国地質学の国際化	山田 俊弘

### 2017年度

月 日	報告者	報 告 題 目	コメンテーター
4月28日	巫 仁恕	清代同治朝巴縣檔案竊盜件の研究 ——從法制史、社會史到物質消費史初探	伍 躍
5月19日	吉田建一郎	日中戦争期、寒羊と寿陽羊に関する日本の調査活動	富澤 芳亜
6月2日	潘 藝心	消費都市から生産都市へ——計画経済期の南京と大廠	柴田 陽一
6月16日	滝田 豪	政治論としての「後学」再考 ——ナショナリズムと自由・民主	森川 裕貫
6月30日	蔡 志祥	從反迷信到萬緣會——廣州到東南亞的城市救贖儀式	志賀 市子
7月7日	箱田 恵子	清末中国外交と海牙公断	松重 充浩

7月21日	萩 恵里子	総理衙門大臣の活動——対イギリス漢文史料の分析を中心に	大坪 慶之
9月29日	森 万佑子	朝鮮外交の近代——宗属関係から大韓帝国へ	石川 亮太
10月13日	張 子康	琉球王国の西洋語通事	横山 伊徳
10月27日	小堀 慎悟	世紀転換期香港の衛生政策 ——中国人居住環境をめぐる議論を例として	福士 由紀
11月17日	望月 直人	アメリカ外交官と清議派の同床異夢 ——「越南問題」(1883年)における仲裁と国際世論喚起をめぐる試み	三牧 聖子
12月1日	兒玉 州平	「満洲国」工業化をめぐる日満間非公式調整制度の創出	平井 健介
12月15日	堀地 明	清代嘉慶・道光年間における北京の回漕問題	田口宏二郎
1月26日	片山 剛	土地改革前夜、土地利用に対する共同規制と〈村の領域〉の存在形態——広東省高要県金東圍を中心に	井黒 忍
3月9日	彭 浩	清朝の貿易管理と牌照・執照——アヘン戦争以前を中心に	岩井 茂樹
3月16日	蒲 豊彦	近代広東部史——“戦う村落”から農民運動へ	阿南 友亮

## 2018年度

月 日	報告者	報告 題 目	コメンテーター
4月27日	王 天馳	順治十年正月の『刑科史書』からみた清初刑部の一側面	谷井 陽子
5月18日	Robert Hellyer	“Adulterated” Chinese Tea on the Late 19th-Century US Market: Producer Connivance or Consumer Prejudice?	古田 和子
6月1日	Thomas Barrett	清朝在外公館における西洋人館員とそのメディア活動 ——D.B. マッカーティの琉球帰属問題をめぐる言説を中心として	箱田 恵子
6月15日	岡本 隆司	長崎の聖堂と孔子廟——日中の近世・近代を考える	彭 浩
6月29日	彭 劍	北鬼氏〈大清憲法案〉译读報告	村田雄二郎
7月13日	安 東強	清代学政規制与皇权体制	狭間 直樹
7月20日	郭 まいか	民国初期、上海共同租界における犯人引き渡し交渉について	孫 安石
10月5日	楊 峻懿	民国期中国における水産人材育成の模索	佐々木貴文
10月19日	李ハンキョル	杜亜泉の言説における社会主義——社会主義と文明の調和	石川 禎浩
11月2日	秋田 朝美	1930年代南京国民政府の借款とその帰結 ——棉花からみた棉麦借款	久保 亨
11月16日	堀地 明	1910年代中国の米禁と1918年対日米穀輸出問題	木越 義則
12月7日	富澤 芳亜	1950～70年代の中国の綿製品輸出について ——日本紡績協会の調査から見えるもの	渡邊 純子
12月21日	瞿 艶丹	近代北京における肺結核予防治療の出発と展開 ——1930年代を中心として	蒲 豊彦
1月18日	漆 麟	「アート・スペース」としての日中戦争期の中ソ文化協会	呉 孟晋
2月1日	園田 節子	英領西インド諸島における中国移民の社会的地位向上 ——1930-40年代の分析を中心に	原 不二夫

2月15日	坂井田夕起子	日本軍占領下の廈門と日本仏教の宣撫工作 ——真宗大谷派の神田恵雲を中心に	松金 公正
2月22日	太田 出	ある宣撫官の長い道のり——「戦犯」笠実の日中戦争	大澤 武司
3月1日	王 怡然	清末日本の蚕糸業学校に学んだ中国人留学生について	富澤 芳亜

## 2019年度

月 日	報告者	報 告 題 目	コメンテーター
4月26日	木越 義則	世界の海上ハイウェイ ——近代に貨物はどこにどれだけ運ばれたのか	大島 久幸
5月17日	村尾 進	広州入城問題の起源 ——マカートニー使節団からペインズ事件まで	井上 裕正
5月31日	堀地 明	清代北京の民間消防組織	高嶋 航
6月14日	小野 達哉	清代後期重慶の社会的安定化と流動化 ——『巴県檔案』の団練関連記事より	鈴木 秀光
6月28日	瞿 艶丹	近代中国における肺結核療養院の実態 ——牯嶺普仁医院を中心として	福士 由紀
7月12日	大坪 慶之	同治末年の政策決定における皇帝・軍機大臣の関係と皇太后	岩井 茂樹
7月26日	関 芸蕾	清末教育改革における「中体西用」思想について ——「貴陽師範学堂日本教習毆辱学生事件」を中心に	藤谷 浩悦
	比護 遥	政治化する読書空間——1930年代中国における大衆動員と リテラシーのメディア史的研究	中村 元哉
9月27日	都留俊太郎	社会史のなかの二林蔗農事件 ——日本統治期台湾農民運動の再検討	大門 正克
10月11日	谷 雪妮	橋樑と1920年代日中の社会変革論——満洲国への射程	江田 憲治
10月25日	梶谷 懐	中国経済と『所有権』：土地・会社制度からの視点	岡本 隆司
11月8日	角屋敷直哉	南京国民政府の「強迫」期における社会教育 ——上海市を例に	戸部 健
11月22日	田口宏二郎	登記の時代(2) ——1930年代、南京土地登記を阻むもの	吉澤誠一郎
12月13日	石川 亮太	近代朝鮮における中国向け海産物の生産と流通 ——テングサを中心に	谷ヶ城秀吉
1月10日	Joan Judge	China's Mundane Revolution: Cheap Print, Common Readers, and Vernacular Knowledge in the Long Republic	高嶋 航
1月24日	浜田 直也	胡適の訪日(1927年)と「上海四・一クーデター」 ——グリーター『胡適』の書評として	金丸 裕一
2月7日	張 子康	一九世紀東アジアの一通事 ——牧志朝忠の活動とその意義	木村 直樹

※2020年3月6日に予定されていた岩井茂樹「明代海禁再考——対日制裁から貿易独占へ」(コメンテーター 城地孝)は新型コロナウイルス感染拡大のために開催できなかった。この報告と関連して、同年8月20日に「合評会 岩井茂樹著『朝貢・海禁・互市—近世東アジアの貿易と秩序』(評者：城地孝・橋本雄・松方冬子)」を人文科学研究所現代中国センターと公益財団法人 鹿島学術振興財団助成事業「外交の世界史の構築—15～19世紀ユーラシアにおける交易と政権による保護・統制—」の共催で開催した。